

2. 調査方法

(1) ニッパラの生活史・個体群の年齢構成

- ① ため池5カ所に定点を設け1回/月、定期的にモンドリトラップを約30分沈めて捕獲
- ② 捕獲個体の標準体長測定、雌雄の判別等を行う



ネひょうご北根タナゴ研究会

7

3. 調査結果 (解析中)

(1) ニッパラ捕獲数の推移と水温



- ・1回最大捕獲数897尾(2021年8月)
- ・4月~6月水温が高い割に捕獲数少ない⇒繁殖最盛期?

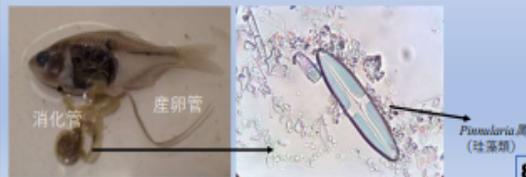
10

方法

(2) ニッパラの食性調査

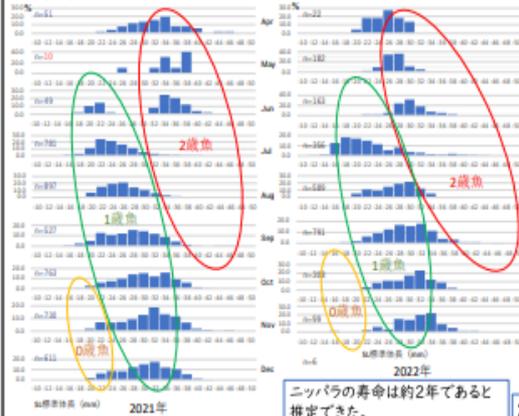
仔魚期：動物性プランクトン
成魚：珪藻などの植物性プランクトン(北村, 2020)

- ① 各回で捕獲した5個体を10%ホルマリン固定し、後日、消化管内容物の同定
- ② 池水および底層を採取し、5%ホルマリン固定。そこに含まれる生物種を同定し、消化管内のものと比較する



8

(2) 体長組成と個体数



ニッパラの寿命は約2年であると推定できた。

11

方法(3) 二枚貝の生活史調査

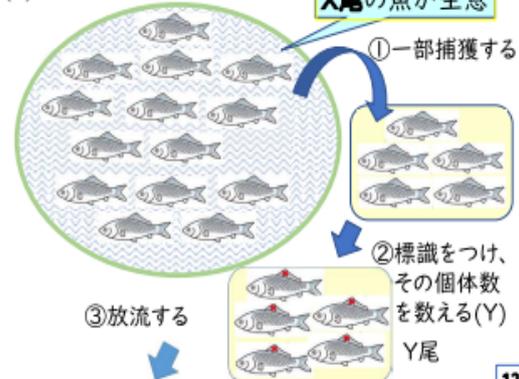
- ① ため池の長径に沿った2本のライン上、左右1mの範囲で二枚貝を素手で採取
- ② 種を同定し個体数や殻長を計測
- ③ 殻に油性インクで識別番号を記し放流

- ・ 二枚貝の個体数、生活史、成長量等を推定
- ・ 可能なら食性調査も実施

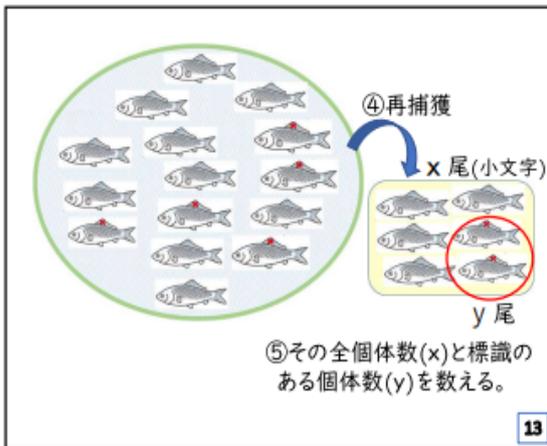


9

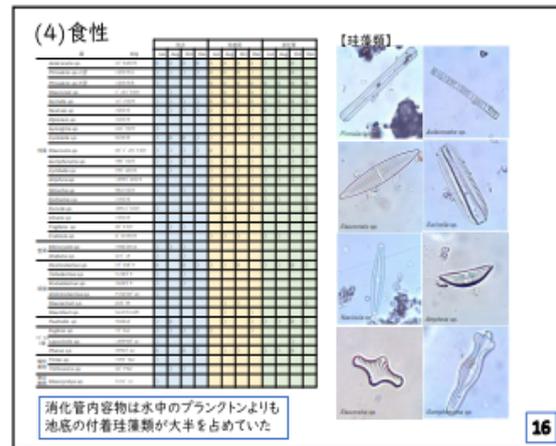
(3) 標識採捕法による個体数推定



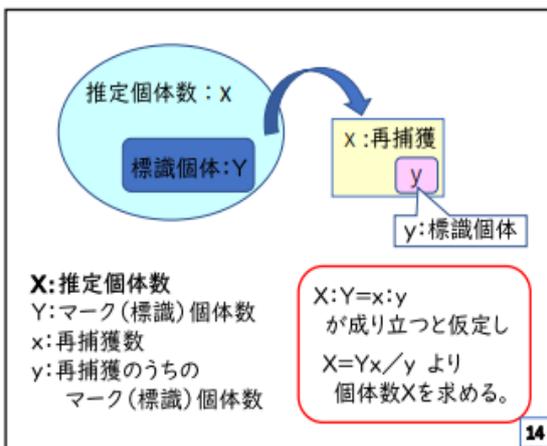
12



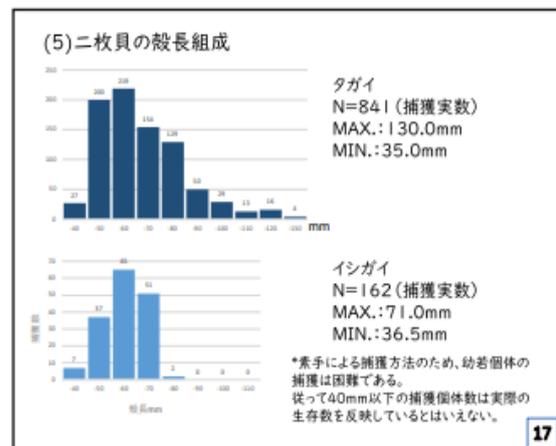
13



16



14



17

	調査日	採捕期間	マーク個体	推定個体数
タガイ	2022.12		推定個体数⇒T1	202
	2023.04	4ヶ月	再捕獲個体数	37
	T1=1512.3			
	2023.04		推定個体数⇒T2	205
	2023.12	8ヶ月	再捕獲個体数	10
	T2=6519.0			
イシガイ	2022.12		推定個体数⇒T3	202
	2023.12	12ヶ月	再捕獲個体数	8
	T3=8029.5			
	2022.12		推定個体数⇒I1	22
	2023.04	4ヶ月	再捕獲個体数	2
	I1=264.0			
ニッパラ (>SL25mm)	2023.04		推定個体数⇒I2	9
	2023.12	8ヶ月	再捕獲個体数	2
	I2=220.5			
	2022.12		推定個体数⇒I3	22
	2023.12	12ヶ月	再捕獲個体数	4
	I3=269.5			
	調査日		マーク個体	推定個体数
	2023.9.18		推定個体数⇒N1	272
	2023.9.24	6日	再捕獲個体数	14
N1=5090.3				

15

【今後の課題】

- ・繁殖最盛期の推定⇒産卵管の測定
- ・ニッパラおよびニ枚貝の幼若個体の捕獲
⇒捕獲道具や方法の再考
- ・消化管内容物の定量的な計測、および統計的解析
- ・調査研究成果をもとにニッパラの保全活動の実施

⇒ビोटープ池での域外保全
エスベック株式会社
神戸R&Dセンター内ビोटープ池にて試行中(2023年3月～)

18

*ひょうご北摂タナゴ研究会連絡先⇒ tanagoken99@ymail.ne.jp